

様式第 2 号（第 8 条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和 3 年度 第 1 回 加須市環境審議会
開催日時	令和 3 年 8 月 6 日（金） 午後 3 時 0 0 分から午後 4 時 1 0 分まで
開催場所	加須市役所 5 階 5 0 5 会議室
議長氏名	浅野 和生
出席委員	浅野 和生、鈴木 君恵、宮崎 悟、前田 博之、川野 謙一 鳥海 靖久、並木 秀夫、野口 智章、高橋 近好、若山 敬、 青木 正枝、福田 真道、大原 利眞、横田 二也、柳田 浩
欠席委員	なし
会議次第	1 開会 2 委嘱状の交付 3 会長あいさつ 4 市長あいさつ 5 審議会委員・事務局職員紹介 6 議事 1) 令和 2 年度に実施した環境の保全及び創造に関する施策の 報告について 2) その他 7 閉会
会議資料の名称	資料 1 加須市の環境 令和 3 年度版〔令和 2 年度実績〕 資料 2 加須市の環境 令和 3 年度版（令和 2 年度実績）の概要に ついて ～加須市環境基本計画後期計画期間の達成度～
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	

傍聴者の数	なし
説明者の職・氏名	環境政策課：課長 長沼 理史
事務局職員職・氏名	<p>環境安全部：部長 福田 浩一</p> <p>環境政策課：課長 長沼 理史 主幹 牛久保 敏之、主査 小林 貴夫</p> <p>資源リサイクル課：課長 藤井 浩司</p> <p>農業振興課：課長 駒宮 敏之</p> <p>まちづくり課：課長 成田 幹雄</p> <p>治水課：課長 鈴木 崇</p> <p>下水道課：課長 増田 英二</p> <p>学校教育課：主幹 大拙 隆弘</p> <p>騎西総合支所地域振興課：主幹 前島 勝己</p> <p>北川辺総合支所地域振興課：課長 加藤 辰男</p> <p>大利根総合支所地域振興課：主任 臺 佑介</p>
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	なし

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局(牛久保環境政策課主幹)	1 開会
市長	2 委嘱状の交付 川野謙一委員、並木秀夫委員、野口智章委員、福田真道委員、大原利眞委員
会長	3 会長あいさつ
市長	4 市長あいさつ
事務局(牛久保環境政策課主幹)	5 審議会委員・事務局職員紹介
浅野議長（会長）	6 議事 1) 令和2年度に実施した環境の保全及び創造に関する施策の報告について
事務局(長沼環境政策課長)	資料1及び資料2を説明 質疑
川野委員	資料1は審議会終了後にホームページに掲載されるかと思いますが、ホームページに掲載する場合はページ数が多いので、資料1の一括のものと、章ごとに分けて掲載いただきたいと思います。 2点目ですが、令和3年度から第2次加須市環境基本計画が始まります。SDGsのゴール目標が17項目ありますが、今後計画の中にちゃんと紐づけができるような形にいただきたいと思います。
浅野議長（会長）	昨年度にこの第2次の加須市環境基本計画を作って、その中にはSDGsの項目ごとに、すでに掲げているところでは

事務局(長沼環境政策課長)

環境基本計画につきましては、皆さんに複数回、ご検討をいただきまして、SDGsに紐づいた形で、令和3年3月に作成させていただきました。

この計画は、ホームページには掲載しております。先ほどご指摘いただいたPDFでの掲載については、工夫させていただければと思います。

前田委員

SDGsは17のゴールの四角がずらっと並んでいるものを、よく皆さん目にされると思いますが、実はもう一つ見方があります。SDGsのウェディングケーキモデルというのが、世界的には一つの見方として示されています。これは3層になっていて、一番下は、生態系とか陸域とか水辺のその自然環境を健全に保つということが土台になっていて、その上に社会、さらに一番上にその経済が成り立っていくというような形で、SDGsの17ゴールに向け、取り組みを進めていきたいと思いますという一つの見方になっています。

ここで私が一番言いたいのは経済と社会の基盤、土台になっているのが、この自然環境だということが世界の認識となっています。そういうことからすると、加須市の土地利用の割合から見ても、その陸域の自然、水辺の自然というのが面積的にも多いわけですから、ポテンシャルとしてはすごくある場所だろうと思います。

そういうポテンシャルのある加須市がどういう環境を目指していったらいいのかですが、もちろん昨年度この環境審議会で審議をして策定をした、第2次環境基本計画が1つ目指すところにはなるわけですが、具体的にどこが到達点になるのかというのは、分かりにくいというのは事実です。

そういう中で、到達点として考えられるのが、コウノトリです。ご存知の方も多いと思いますが、渡良瀬遊水地では2年連続でコウノトリが繁殖をしており、これは渡良瀬遊水地だけの取り組みではなく、周辺の自治体が、一緒になって自然が残っている場所、農地がある場所、そういったところに、コウノトリが飛んでいって住めるような環境を皆さんでつくっていきましょうという取り組みが協議会で進んでいます。

ということは、コウノトリが加須市内のあちこちで見られるようになるのは、1つの到達点になるのではないかと思います。

加須市では、私がお聞きしている話としては、オニバスのところで、この先コウノトリが住める環境を考えたときに、どれだけコウノトリが食べる餌があるかといった生き物調査を行うなど、他の自治体より進んでいると思います。

ですので、ぜひ周辺の自治体のモデルになるような取り組みを継続していただきたいと思います。同時に土地利用の中でも水田が結構大事に、ある意味、宝物になってくると思います。

水田に関係する昨年度の取り組みを拝見すると、例えば、資料1の62ページの多面的機能支援事業の中の(3)資源向上支払交付金事業の中で素掘り水路からの更新というのがあります。素掘りの水路は管理がやっぱり大変で、それをこの国の交付金を使って管理をしやすいように人工的な水路に変えていくことだと思うのですが、この素掘りの水路が、コウノトリが住めるような環境の中では、非常に大事な場所にもなるわけなので、そこも念頭に置いていただいて、農地の保全とともに、コウノトリも暮らせるような水田というの、今年度、来年度以降で考えていただきたいと思います。

あわせて今の農地の関係で言いますと、この資料1の後ろの方、関連する計画の生物多様性かぞ戦略で、239ページの下段の取り組み事業の(4)生き物への配慮、ここに指標として田のほ場整備率が掲載されていますけれども、これも、ほ場整備が進むことによって、農業としては非常にやりやすくなるという一方で、場合によっては生き物が住みづらくなる側面も出てきますので、農業が今後も持続できるということと同時に、生き物も住めるといった点を気にして取り組みを進めていただきたいと思います。

かぞ戦略の話ですが、昨年度までが計画期間だったと認識してありますが、これは改定をされたのでしょうか。どこかでもう公表されているのでしょうか。

事務局(長沼環境政策課長)

様々な指標が切り替わった形で引き継いでいる部分がございます。例えばアライグマであれば捕獲数が多い少ないではなく、実情に合わせたほうが良いというご意見がございましたので、ボランティアの方と共同で捕獲した場合の数値に変えさせていただきます。指標をそのまま引き継がない場合もございます。かぞ戦略の改定につきましては、改めて確認させていただきます。

きます。

青木委員

139ページの再生可能エネルギーの導入促進のページで、太陽光発電システムの設置基数や容量、件数の記載がありますが、太陽光発電はいろいろ問題も報道されているところで、県や国の方もルールを作るとか、動き出していると聞いています。

加須市でも土地さえあればどこでも設置可能というのではなくて何らかのルールがあるべきではないかと思います。特に自然保護の重点地域で、例えば浮野の里の隣に、突然メガソーラーが立つというのは考えられないことではないので、条例とかを作るのはなかなか難しいですが、このことも踏まえて、設置場所もここに加えていただけると、もっと良くなるのではないかと思います。

事務局(長沼環境政策課長)

国のガイドラインに基づき、開発というか許可の段階でチェックはしておりますが、青木委員がおっしゃる通り、浮野の里の保全区域に、突然メガソーラーのような大きいものができる可能性はあります。環境への配慮に関する何らかのルールづくりは必要だと思いますので、研究させていただきます。

大原委員

本年度は、第2次環境基本計画の初年度ということもあって、期待のコメントとして、2点ほど発言させていただきます。

1点目は、先ほどご説明いただいた資料1の7ページです。

私は長く、環境研究に従事しておりますけれども、拝見して驚いたことがいくつかあって、1つは「環境意識の高いまちをつくる」という基本目標がありますが、第1次計画前期計画では目標Ⅲであったものが目標Ⅰになり、レベルアップしたのだろうと、かつ、第2次計画の目標Ⅰにもちゃんと位置付けられていることです。

もう1つはリサイクル率が全国で4位、県内で1位ということです。多分その2つの話というのは、リンケージしていると思います。当然リサイクル率を高めるには、市民の方の、或いは事業者の方の、いろいろな形での協働、連携が必要で、そのポテンシャルが多分、加須市にはあると思います。これから脱炭素社会に向けた取り組みを進める上で、市民の方の行動を変えていただく取り組みがどうしても必要になってくると思うので、そういった

取り組みが、ある意味では、すでに進んでいる面もあるし、そのポテンシャルがあると解釈いたしました。

それで、そういった中において目標のⅠで掲げられているわけでありますので、こういったようなことを素地にされて、目標のⅡ、Ⅲ、Ⅳにうまくリンケージさせていく。

時間的なスケールはちょっと違うかもしれませんが、その目標Ⅰで、環境意識を高めた結果として、目標のⅡ、Ⅲ、Ⅳによりうまく結びついていくような、何かそういう取り組みをこれから積極的に考えられていくといいと思います。

目標Ⅰは、若い人の環境教育、或いは啓蒙等の側面が当然強いと思いますが、環境基本計画は10年の計画ですので、最終年度の2030年のCO₂排出量は、2013年度の46%削減という目標年にもなるわけですし、先ほどSDGsの話にもありましたように、それこそ市民の方のいろいろな形での協力、それから構造の変化がなくては達成できないと思います。

それに向けて、この目標Ⅰの取り組みをうまく、脱炭素社会の構築、或いは自然共生型社会の構築等にリンケージさせていくことを期待しています。

もう1つは、資料2の3ページにあります、「本計画は、環境（成果）指標を基にした施策の進捗状況や目標の達成状況などをもって、進行管理を行います」とあります。これは正しいと思いますし、先ほどご説明がありましたように指標に対する達成度と言った形で評価されると、行政側も、それから市民の側もわかりやすい、やりやすいという側面は確かにあると思うのですが、でも、それだけでいいのだろうかと思うのです。

要するに、何%とか、個別の指標が達成した、しないということだけで評価していいのだろうかと思うのです。多分そういう個別の評価と同時に、それらの結果の全体を見て、包括的に全体としてどうなのかといった評価を何らかの形でする必要があって、簡潔な文章でよろしいかと思いますが、どこかに記述することによって来年度以降されるとよろしいのではないかと思います。

浅野会長

非常に大変大きな視点からのご意見でしたけど、私の方から細かいことで3ヶ所について確認したいことがあります。

市役所が独自にできることで、達成状況がよくないことというのはどうなのだろうかということです。例えば資料1の123ペー

ジ、エコカーの普及促進と言いながら、実際には公用車における使用台数、これは加須市として取り組めばできるはずですが「やや遅れている」となっています。また、136ページのグリーンカーテンの設置促進についても公共施設等ということですので、基本的には、市の意識、予算組みだと思っておりますが「大幅に遅れている」となっていますし、さらに、214ページの市役所の職員の自転車通勤という話ですけど、これも「やや遅れている」となっているのです。これについてはどう評価されて、今後の見通し、或いは取り組みについてご意見があればお伺いしたいということです。代表的な例としてその3つを挙げました。

事務局(長沼環境政策課長)

例えばエコカーのハイブリッド、確かに公用車で1台、あと市長車のハイブリットカーが2台ということで、掲げている数字には全然満たない状況でございます。グリーンカーテンしかり、職員の自転車通勤しかりなのですが、先ほど、環境意識の醸成ということでありましたが、少しずつ小さなことから積み上げていくような努力を引き続き、職員や市民の皆様へも周知するなど、着実に取り組んでいけたらと考えております。

事務局(長沼環境政策課長)

2) その他

○加須市のゼロカーボンシティへの取り組みについて

現在、加須市ではゼロカーボンシティの表明はしておりませんが、第2次基本計画において、市の省エネ行動の率先実行や省エネ設備の促進、LED化の促進など様々な取り組みを位置付けております。また市役所等の公共施設において、令和3年3月に策定しました第3次加須市役所温暖化防止実行計画の中では、市の事務事業から発生する令和12年度の温室効果ガス排出量を平成25年度と比較して40%削減を目指し、全庁的に取り組んでおります。

近年、地球温暖化の原因と考えられる猛暑や豪雨が頻繁に発生しているのはご承知の通りでして、更なる温室効果ガスの削減に取り組むことが重要であります。ゼロカーボンシティにつきましては、7月30日現在で埼玉県内の18市3町が公表していますので、加須市についても今年度中の公表に向けて、取り組んで参りたいと考えております。

質疑終了

浅野議長（会長）

以上で、本日の議事は全て終了でございます。委員の皆様には多くの助言・ご提言をいただきましてありがとうございました。本日いただきました助言・提言につきましては、事務局と私とで調整させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

浅野議長（会長）

事務局におきましては、これらの意見を検討して今後の審議会等に反映させていただきますようお願い申し上げます。

これで議長としての務めを終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

進行を事務局にお返しします。

事務局（牛久保環境政策課主幹）

7 閉会

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。（注）

令和 3 年 8 月 23 日

署名 浅野和生

（注）特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。